

教職員の勤務状況等調査結果【令和5年1月のまとめ】

令和5年3月 群馬県教育委員会 学校人事課管理係



毎月の勤務状況調査に御協力いただきありがとうございます。令和5年1月分の勤務状況等調査の集約結果を以下の通り報告いたします。

集計結果を確認いただき、教職員の多忙化解消に向けた協議会からの「提言R5」とあわせて今後の充実した働き方の参考としていただければと思います。引き続き、働き方改革・業務改善を通して「子どもたちと向き合う機会の充実」を進めて参ります。



令和5年1月の状況について

■時間外在校等時間が月45時間以上の者の割合を前年と比較すると、小学校と特別支援学校では減少（時間外在校等時間が短くなる傾向）、中学校と高校では増加（時間外在校等時間が長くなる傾向）となっています。

■令和4年1月は、中旬からまん延防止等重点措置が県内全域に適用され、複数の学校でクラスターが発生し、学級閉鎖や部活動の制限等の措置がとられていました。現在は承知のとおり、感染防止対策を講じた上での通常の学校生活となっており、こういった状況が、時間外在校等時間が長くなっている要因の一つとして考えられます。

■しかし、通常の学校生活にもどrittつある中でも、安易にコロナ禍前に戻すことなく教職員の業務について精選し、時間外在校等時間を減少させている学校も数多く見られます。

■各校では、新年度の準備が進んでいると思われます。教職員の多忙化解消に向けた協議会からの「提言R5」を参照に、教職員の多忙化解消につながる体制づくりを進めていただければと思います。（提言は下記リンクを参照）

[多忙化解消に向けた協議会からの「提言R5」：教育関連情報（令和5年1月配信）](#)



部活動運営の在り方について「提言R5」が示されました

■このたび、群馬県部活動運営の在り方検討委員会より「提言R5」が示されました。「適正な部活動運営の推進」と「休日の学校部活動の段階的な地域移行の推進」の2点を中心に、各教育委員会・スポーツ部局・文化部局及び各学校、部活動に関する各関係団体が取り組むべき内容について、提言が示されています。

■各学校等においても、部活動運営の見直しと、段階的な地域移行の推進に向けて、今回の提言R5を踏まえた検討を進め、教職員の多忙化解消にもつなげていただければと思います。詳細については以下のリンクを参照ください。

[群馬県部活動運営の在り方について～「適正な部活動運営」と「休日の学校部活動の段階的な地域移行」の推進～【提言R5】](#)



「学校における働き方改革フォーラム」が開催されます

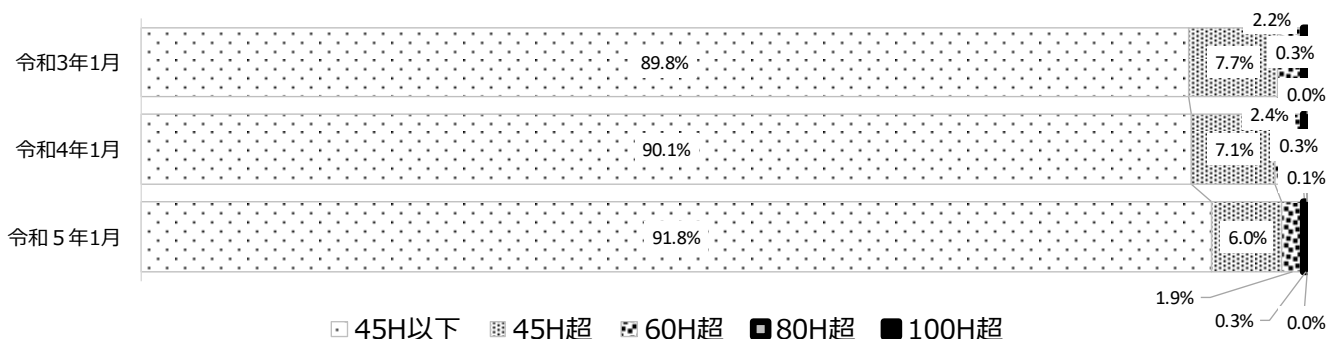
■昨年度に引き続き、文部科学省主催の「学校における働き方改革フォーラム」が、3月22日（水）にオンラインにて開催されます。全国の学校や教育委員会の働き方改革に関する取組事例の紹介や、パネルディスカッションが行われます。学校関係者の方であれば参加できますのでご確認ください。フォーラムの詳細や申込については、以下のリンクを参照ください。

[令和4年度学校における働き方改革フォーラムについて：文部科学省 \(mext.go.jp\)](#)

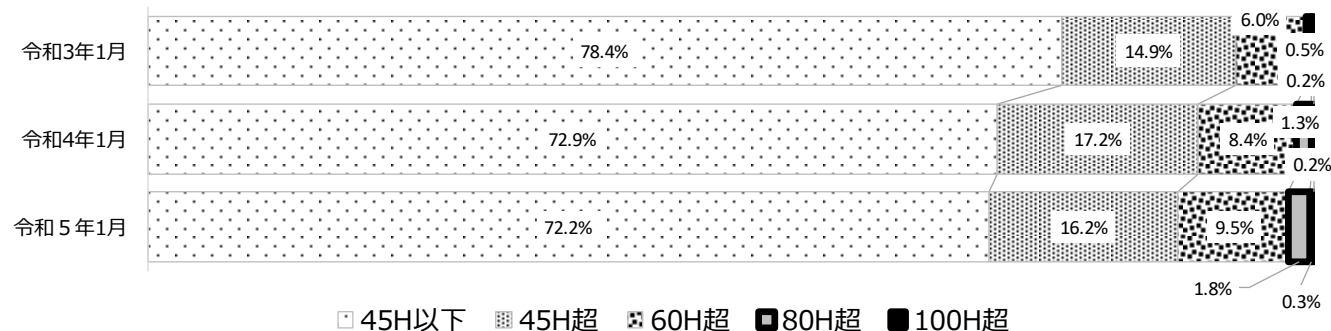
時間外在校等時間の状況【1月の経年変化】

[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

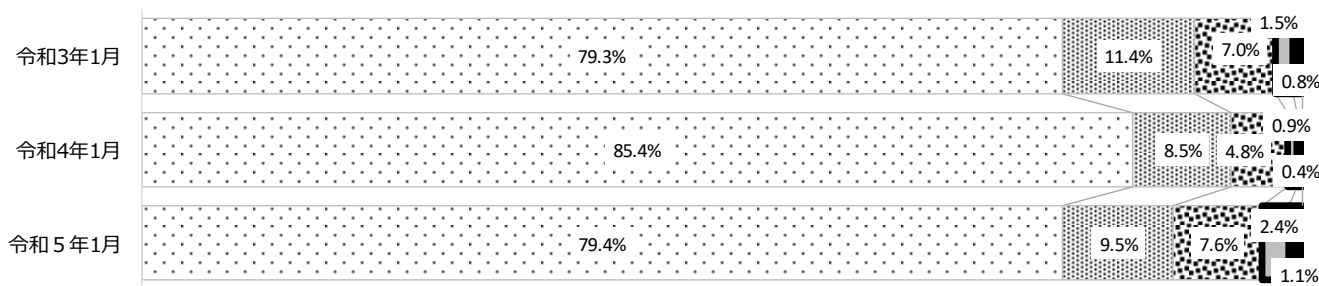
1 小学校の状況



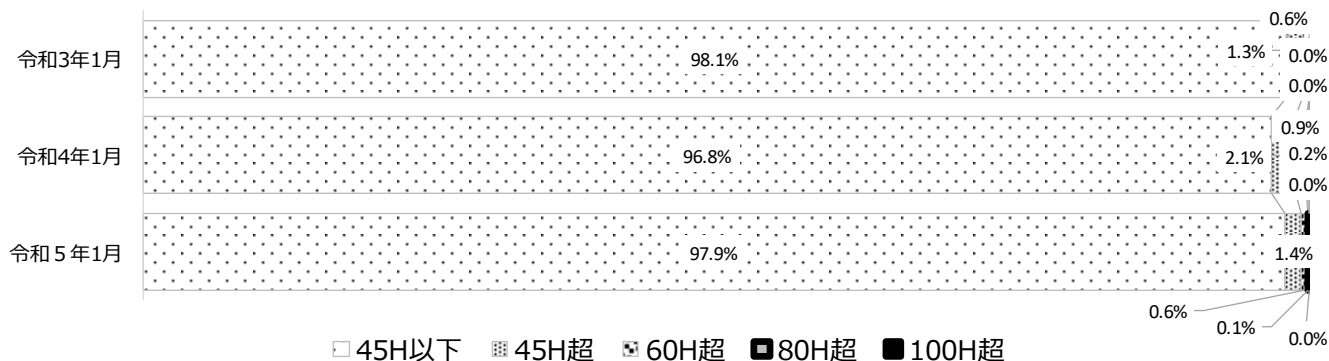
2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）



3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校,市立の高校を含む）



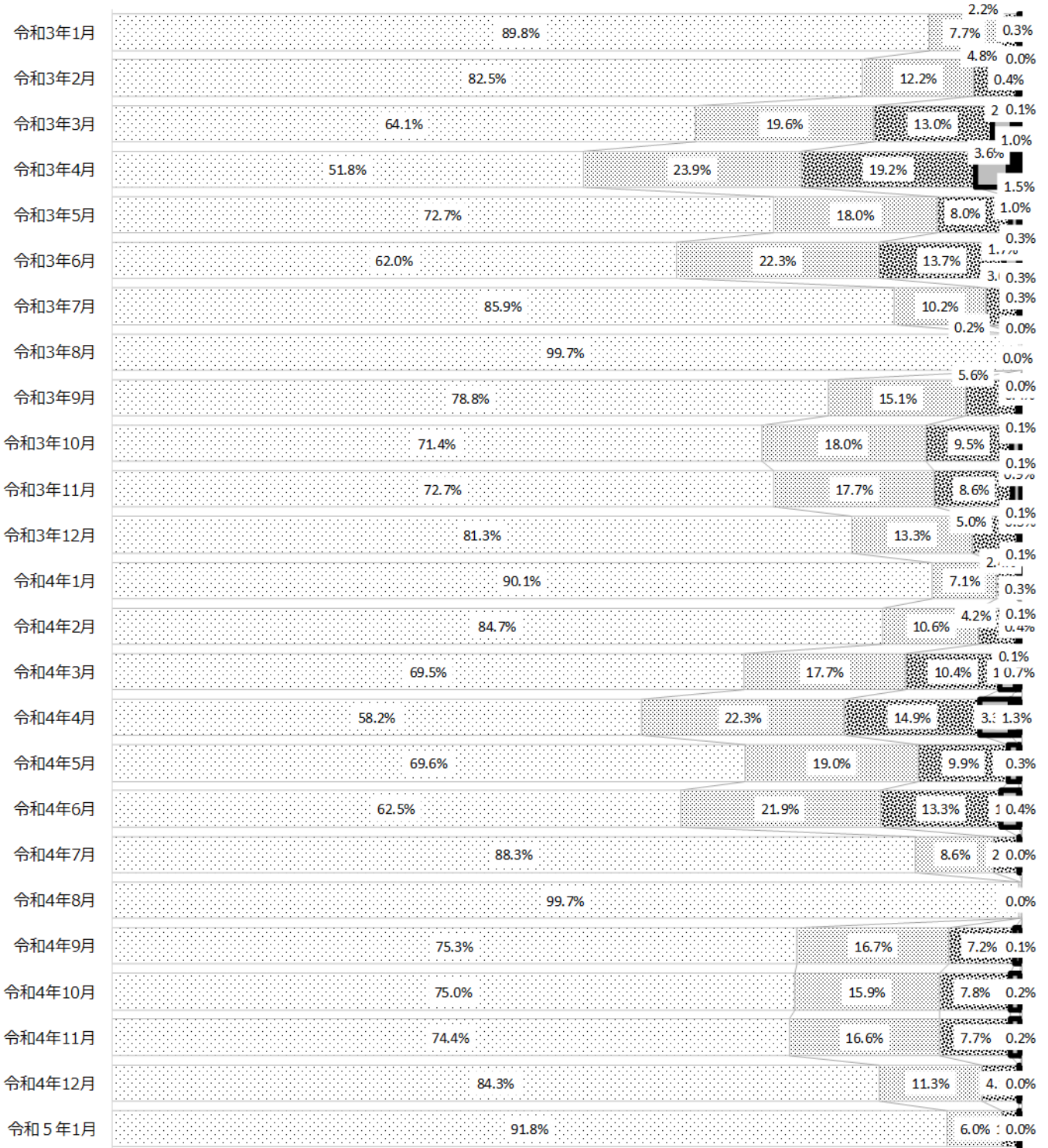
4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



時間外在校等時間の状況【令和3年1月～】

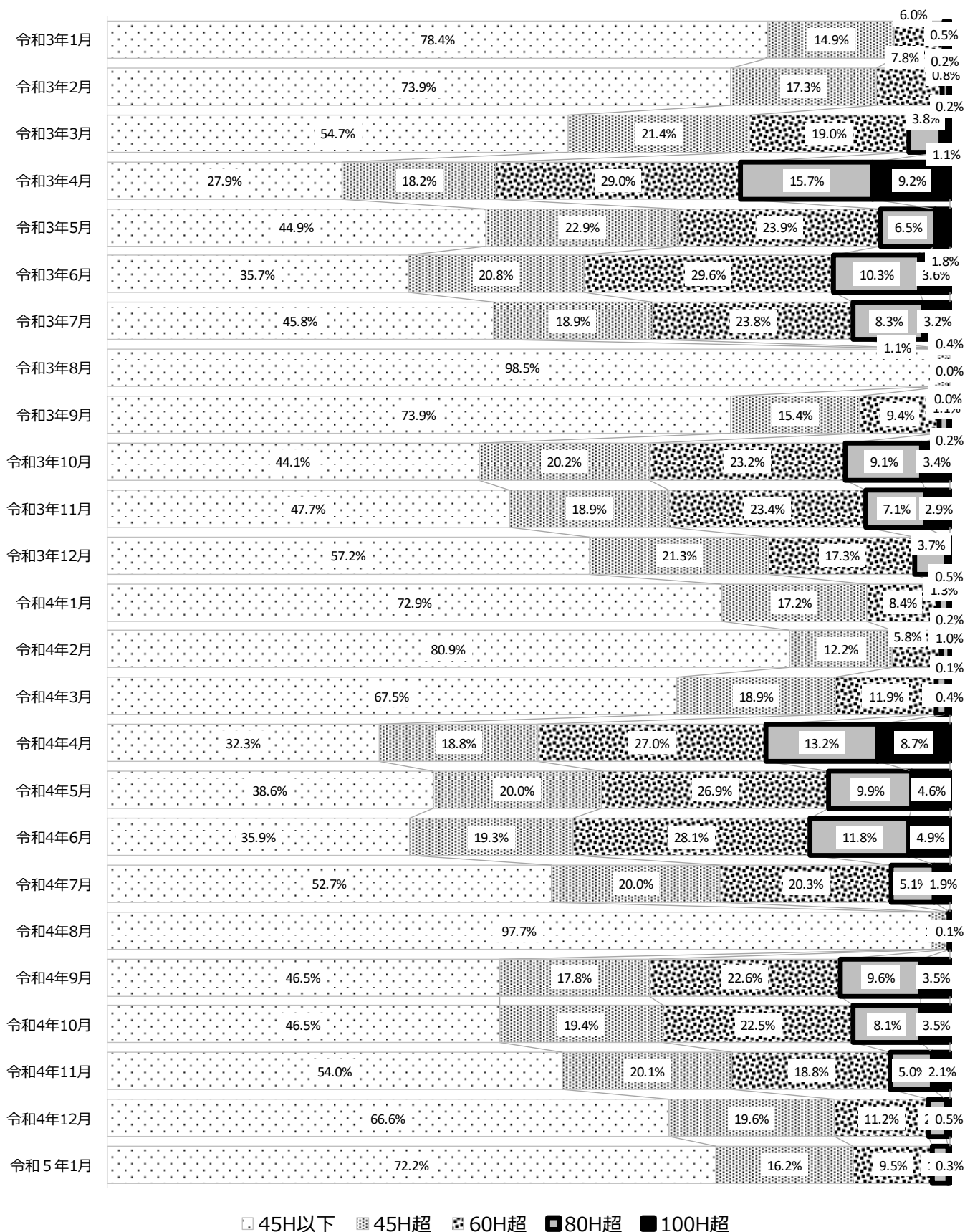
[市町村立・県立の全校を対象とした校種別の時間外在校等時間の状況調査]

1 小学校の状況

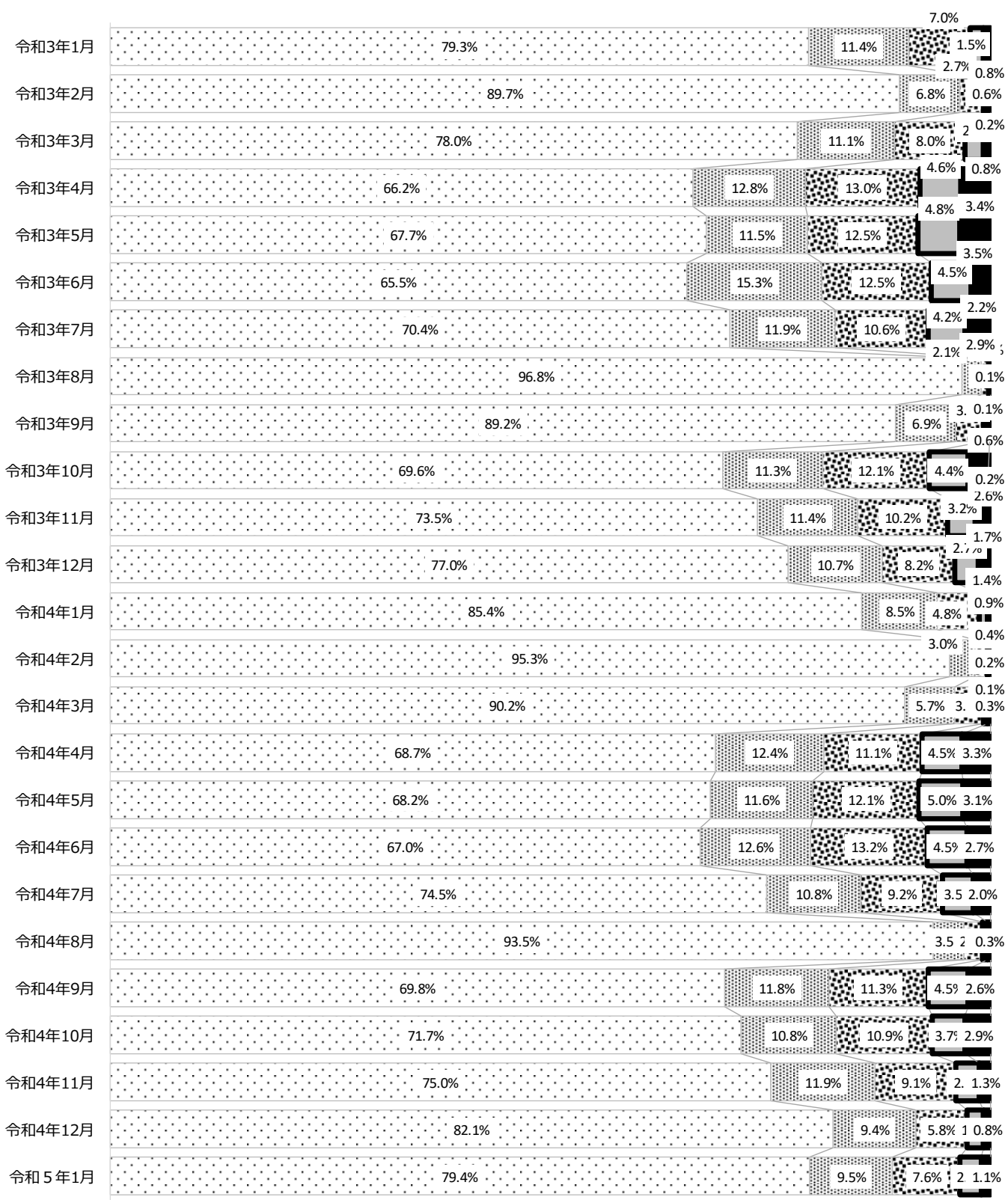


45H以下
 45H超
 60H超
 80H超
 100H超

2 中学校の状況（市立の義務教育学校を含む）

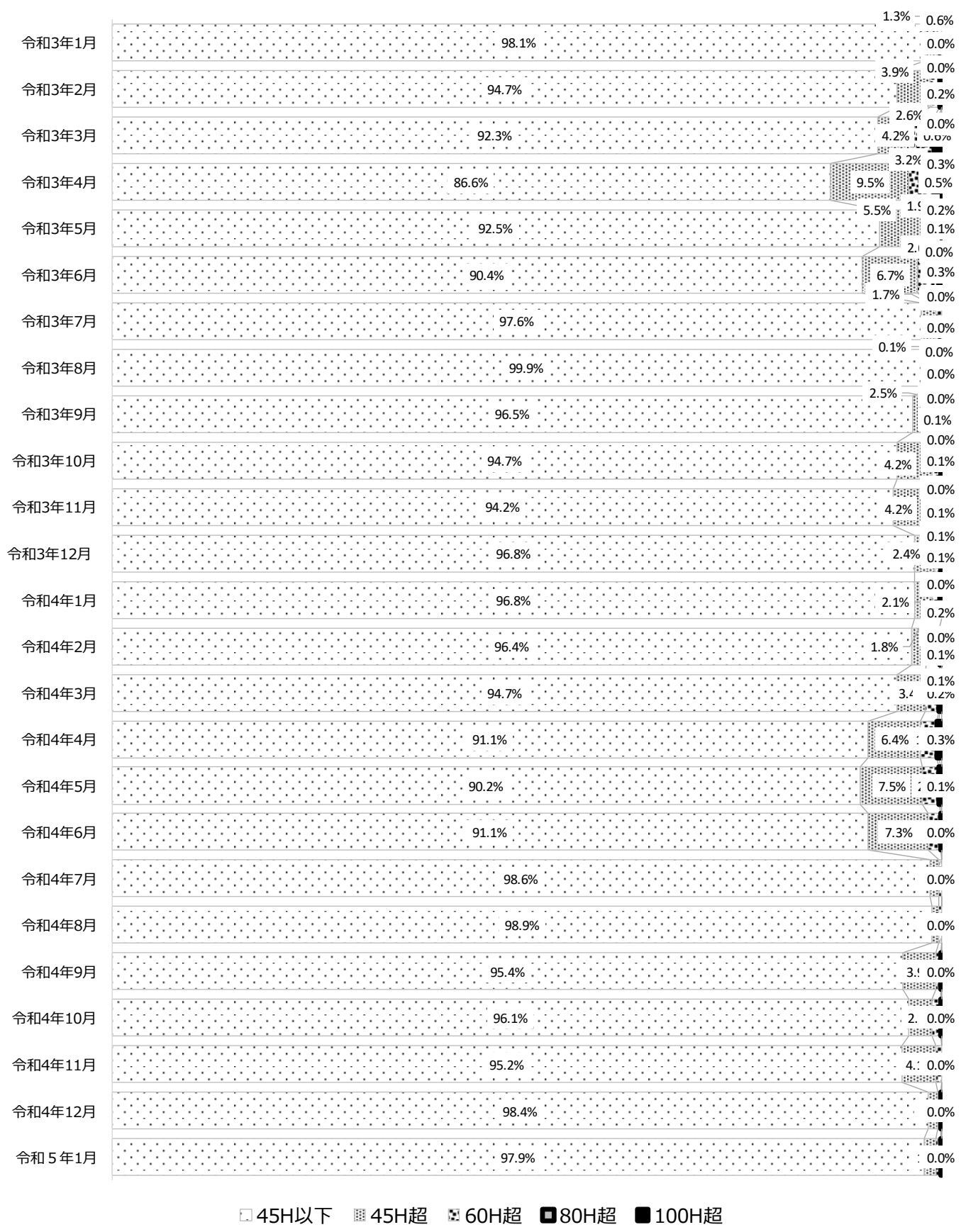


3 高等学校の状況（県立・市立の中等教育学校含む）



□ 45H以下 ■ 45H超 ▨ 60H超 ■ 80H超 ■ 100H超

4 特別支援学校の状況（市立の特別支援学校を含む）



45H以下
 45H超
 60H超
 80H超
 100H超